

TEGOネットだより浜田

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成24年3月8日 第58号
浜田市農林業支援センター

はじめに

弥生、啓蟄を迎えました。土中の虫が地面にはい出てくる季節と層にはあります。気がつけばいつの間にか「きんさい市場」駐車場の隅に菜の花が咲いていました。季節は見えないところで確実に移り替わっています。「山にこぶしの花が咲くと農作業を始める」「こぶしの花がきれいに咲くと今年は豊作になる」春になると地域の古老がよく話していたのを思い出します。栽培暦を基に天候を読み取り、豊作に導くことこそ農業の醍醐味と思います。今年も各農家の無事故、豊作を願っております。

(浜田市農林業支援センター長 酒井 憲正)

1. 各支援チームからの話題

★ 新規就農者支援チーム (担当: 稲田・山岡)

いなだ やまおか

農業研修生決まる！



平成24年4月開始に向け、**弥栄自治区農業研修生**と**浜田市ふるさと農業研修生**の面接が行われました。弥栄自治区では2名、ふるさと農業研修生は4名の応募があり、短期研修や視察ののち、今回の面接となりました。面接の中で研修希望者から、これからの農業に対する意欲と、浜田市で生活することへの期待など、意気込みを話されました。研修受入先からは、現在の厳しい農業事情を踏まえ、より高い技術の習得に励んで欲しいとのお言葉をいただきました。

面接の結果全員が合格され、4月から研修スタートとなりました。

後継者不足が全国的な課題となる中、新たな担い手となる農業研修生をこれからも応援していきます。



● 認定農業者支援チーム (担当: 松井・稲田)

まつい いなだ

「農の雇用事業」募集始まる！

本誌1月号で紹介した、国の「農の雇用事業」の募集が始まりました。

これは、農業法人や認定農業者などが**新たに就農希望者を雇用する場合、実践的な研修に要する経費の一部を助成する**制度です。(研修生1人当たり年間最大120万円)

詳細はホームページでご覧いただけます。

<http://www.nca.or.jp/Be-farmer/nounokoyou/original/index.php>

ご活用ください！

次の応募期間は**4月2日～5月15日**です。昨年10月15日以降に正規職員を採用した(する)場合はこの事業を活用できる可能性があります。当支援センターでは申請書類の作成支援も行っていますので、どうぞお気軽にご相談ください。

■ 集落営農組織支援チーム (担当: 鎌原・山岡)

かまはら やまおか

農事組合法人の総会

各集落営農組織で、定期総会が開催されています。そこでは前年の活動や決算報告のほか、新年度の事業計画などの協議がなされました。

集落営農組織は生産コストの低減や農地の維持管理等の役割の他に、地域経済を維持・活性化する機能を果たしていると思います。また後継者を確保、育成する上でも、重要な役割を担っているといえます。

今後も各組織では、女性や高齢者の労力を活用した野菜栽培や規模拡大などが検討されます。当支援センターでは引き続き組織の発展に向けて支援していきたいと思っております。



2. 粉炭のチカラをお試ください

石央森林組合（金城町）が製造・販売している「^{ふんたん}粉炭」をご存知でしょうか。

原料は**広葉樹・針葉樹・竹**の間伐材やせん定材です。炭が持つ不思議なパワーはよく知られていますが、土壌改良剤として施用した場合、様々な効果が期待できます。

10 ㍻袋を 630 円、20 ㍻袋を 1,100 円で販売していますが、大量に注文した場合は料金が割安になります。詳しくは同組合（Tel42-2400）にお問い合わせください。（当支援センターにサンプルがあります）



3. 浜田で農業をしませんか？『新・農業人フェア』



『**新・農業人フェア**』は、東京や大阪、福岡、広島などを会場に、農業に関心のある人たちに情報を発信することができる大規模な催しです。社員を募集している農業法人や、就農希望者の相談に乗る都道府県や市町村など、全国から参加団体が集まります。

浜田市では、このフェアで「**ふるさと農業研修制度**」や「**弥栄自治区研修制度**」についてPRしており、当支援センターのスタッフも参加しています。2月18日の大阪会場もたくさんの来場者で賑わい、浜田の研修制度に興味を持たれた方には、現地視察や短期研修にお越しいただくようご案内しました。

これからも多くの方に浜田の農業に興味を持っていただけるよう、積極的に情報を発信していきたいと思えます。

4. 『西条柿栽培講座』23年度修了！

浜田市では、経験のない方や栽培に興味のある方などを対象に、年間の栽培方法の講習として「**西条柿栽培講座**」を行っています。今年度は、受講生3名と聴講生4名の7名の方が参加され、圃場での摘蕾や摘果など基本作業の講習、収穫時期は選果場の見学、また出雲市への視察研修などを行ってきました。2月21日は最終回として、これまでのまとめと県内の生産、出荷情勢の説明を受けました。

今回の講座参加者で新たに生産組合に加入された方もいらっしゃいます。今後も講座を通じて、ひとりでも多くの方に栽培してもらえよう取組んでいきます。



5. 春の ^{いろどり} 彩 をお届けします



厳しい寒さもようやく和らぎ始める季節です。この冬、当支援センターでチューリップの球根を植えました。場所はJAいわみ中央本所駐車場にある桜の木の下です。先日、元気よく芽を出しており着実に生長している姿が確認できました。

この春には、ささやかですが皆さんに彩をお届けできたらと思っています。JAにお越しの際は、一度ご覧になってください。



- 当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様に配信しています。
- ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

■ 発刊元 浜田市農林業支援センター

〒697-0024 島根県浜田市黒川町 3741 (JA いわみ中央本所分館 2 階)

TEL : 0855-22-3500 FAX : 0855-22-3477 E-mail : n-shien@city.hamada.shimane.jp